

私個人の注目した点を書き出したもので、これをご覧になった皆さん自身は「そんなに重要視するところか？」と感じられたり、別の所に着目することもあるかと思います。その点は、ご容赦ください。

【児童アンケート結果より】

- ※1: 「そう思う」の26%は大きな減少。過去三年間、ずっとほぼ同じ数値を継続していたことを確認済み。今までになかった変化。但し、あまりも含め、「そう思わない」はほとんど増えていないので、大勢に影響なしとも言えるか。変化の原因は、不明。
- ※2: 今回は、「お家の人」を追加してみたが、数値は全く変化しなかった。個人的には、「そうだんできますか？」で、あまりを含め「そう思わない」という子が20%強いることは、正直まずい状態という印象がある。もっとも、相談するような悩みがないので、この答ということもある？個人の回答を追跡してみる必要あり？
- ※3: 「校庭へ出て体を動かす」ことは、今年度の重点の一つ。成果としてあがっている。但し、低学年より指摘があった「マラソンが、低学年の子にとって意義があるか・・・」という点については、要検討。
- ※4: 縦割り班清掃について先生方からは、効果大の言葉が聞かれていたと思います。但し、黙って清掃に取り組むという振り返りでは、子どもたちの意識としてこの数字は良い？子どもたちの「掃除への振り返らせ方」は？
- ※5: 家庭学習の充実の取り組みは、前進が見られた。実際 PDCA での家庭学習時間アンケートは、大勢が1~2時間の家庭学習・・・ということで、昨年度より大幅な伸び時間となってい。但し、テレビ、ゲームを含めてみると二極化の傾向がある？また、保護者集計を見ると1学期から2学期への変化をみると低下傾向にあるといえる。
- ※6: この質問を心配されていた先生方もおられたようですが、家庭学習の意義を概ね子どもたちは感じ取っていると言える結果が出たと思います。更に向上を目指すためには・・・と難しいところに入っていくことになると思いますが。

【保護者アンケート結果より】

- ※7: 全体としては大きな変化はなし。但し、「あまり、そう思わない」に配慮が必要。子どもたちの「授業は楽しくて、わかりますか。」で「あまり、そう思わない」と答えている児童の実態把握が必要。
 - ※8: 日々の授業参観から「表現力の向上」を肯定的に受け止めている保護者の増加がはっきりわかる。
 - ※9: 保護者の見方もテレビ・ゲームに左右されている児童の姿が二極化になっているという数字を示している。今後、小泉先生のお力を借りながら、メディアコントロール or ノーメディアの取り組みを PTA から起こしていってもらおう動きをする予定。
 - ※10: 各質問内容は異なっていますが、いずれも「まあ、そう思う」から「そう思う」へ数値が移動している。この間の取り組みが評価され、今までより「明確」に感じられるという受け止めができると考える。
- 注) 算数などの学習支援ボランティアは、今回コメントでご意見を求める形にしました。一学期は、疑問を述べる声が多かったのですが、校長先生から保護者の方へお話をされる中で理解が浸透し、賛同される意見が大多数になりました。

【地域・お助け隊アンケート結果より】

保護者アンケートと数字に多少の違いはあるものの、全体的な傾向はほぼ同じ状況となっている。「まあ、そう思う」から「そう思う」へ数値が移動している傾向も、同様に見て取れる。